一　般　質　問　通　告　書

令和７年６月４日から開催される第２回七飯町議会定例会において、次のとおり一般質問をする旨、各議員から通告がありましたので、通知いたします。

令和　７　年　６　月　４　日

七飯町長　杉　原　　太　　殿

七飯町議会議長　木　下　　敏

目　　次

質　問　者	質　　問　　事　　項	ページ
1．平　松　俊　一	全体像が見えて来ない公共交通の将来像について	1
	町長が目指す街づくりのビジョンについて	2
2．上　野　武　彦	アップル温泉の赤字解消対策について	3
	桜町共同墓地に設置されたゴミ箱の管理問題について	4
3．稲　垣　明　美	地域おこし協力隊の現状について	5
4．中　川　友　規	北海道新幹線の利活用構想等について	6
5．神　﨑　和　枝	帯状疱疹ワクチン接種について	7

通告順位及び質問者		要旨
1． 平松俊一	1	全体像が見えて来ない公共交通の将来像について 平成２０年４月に「地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画」を「七飯町地域公共交通活性化協議会」において地域公共交通のあり方の検討が開始され、当初はコミュニティバスの運行を検討するも断念し、令和２年に持続可能な「地域公共交通計画（以下“交通計画”）」（令和４年１０月から令和９年１０月までの５年間を実施計画）を作成した。 この交通計画に基づき令和４年にタクシー運賃負担軽減実証実験を行い、現在は大沼地区からの移動支援実証実験を昨年から２年間に渡り実施し、有料運行の準備として料金設定などを検討している。 そこで今後のことについて伺いたい。 １．交通計画全体の具体的見直しについて ２．町民の要望を再度確かめる事について ３．料金の徴収方法を先行して検討・実験する事について ４．現在令和７年になり新たな提案が何も出てこない事について ５．町側が協議会に対して審議内容を投げかける事について ６．地域の実情に合わせた検討について

通告順位及び質問者		要旨
	2	町長が目指す街づくりのビジョンについて 町長は令和４年度の町長選挙において立候補者４名の中から選ばれ、既に４年任期の最終年に入っている。 これまでの３年間と残りの任期で町長として成し遂げたいものが見えて来ないように感じている町民は多いと思う。 先般、議会から問責決議を提出されるなど、役場組織を統率し七飯町の繁栄を望んで町長を応援して来た方々からは失望感さえ聞こえて来る。 コロナ禍や前町長に起因する案件も多かったことを差し引いても、これまでの成果や将来への期待感は少ないと感じる。 そこで今年度の町ホームページに掲載されている町長挨拶にて、創意工夫を持ってチャレンジすると謳っている５点について伺いたい。 １．生きがいと健康寿命を高める町について ２．子育てを楽しむ町について ３．地域経済が元気になる町について ４．安心して暮らせる町について ５．堅実な町政を推進する町について

通告順位及び質問者		要旨
2. 上野武彦	1	アップル温泉の赤字解消対策について 七飯町健康センターアップル温泉は平成１１年に開設され、今年で開設２７年目を迎えるが、開設以来黒字だったのは、前半の７年間だけで、その後は赤字経営が続いている。 開設以来、年間の利用客数は、黒字期間は年間１４万人以上で最大１９万人であったが、その後利用客数は年々減少し、近年では年間８万人～１０万人にまで減少してきている。又、この間町の７０歳以上の高齢者への利用料の軽減が平成１９年４月１日から実施されている。こうしたことを踏まえ以下の点について伺いたい。 １．赤字経営に転落後当初３年ほどの赤字は年間４～５百万円ほどであったが、その後は１千万～２千万円になり、平成３０年には３千万円台、令和４年には４千万円台の赤字となっている。この赤字の原因は何か。 ２．アップル温泉の経営状況は赤字になっているが、経営改善の取り組みはどのようになっているのか。抜本的な経営改善が必要ではないのか、七飯町としての考えを伺いたい。

通告順位及び質問者	要旨	
	2	桜町共同墓地に設置されたゴミ箱の管理問題について 桜町共同墓地に設置されているゴミ箱は、墓地を訪れた方々が、墓参りの際に発生したごみを、分別もせず、ごみ袋にも入れずにそのままゴミ箱に押し込んだ状態になっている。 七飯町の環境生活課は令和４年７月１日付で、このまま管理されなければ、ごみ箱を閉鎖し、各自の持ち帰りにするとの張り紙をしているが、今年の４月２６日、住民からの声を受け私が現地を見に行った際には、分別もされないゴミがゴミ箱に満杯に詰め込まれた状態であった。 張り紙が令和４年の日付であることから、この状態が３年近く放置されてきたものと思われる。 そこで以下の点について伺いたい。 １．この広い墓地の敷地内には９基のゴミ箱が設置されているが、どれも管理状態は同じ状況であった。このゴミ箱の設置管理者はだれか。 ２．この墓地を訪れる方々も七飯町ばかりでなく非常に広範な地域から訪れていると考えられるが、そのような状況で、ごみ箱の管理を町として今後どのようにしようとしているのか伺いたい。

通告順位及び質問者		要旨
3． 稲垣明美	1	地域おこし協力隊の現状について 北海道における地域おこし協力隊の現状は、２０２４年度の実績で１，３０７人と全国で最も多く、道内の多くの市町村で協力隊を導入し、地域ごとに特色ある活動が展開されている。 全国を見ると隊員数は７，９１０人にのぼり、制度の創設から最多を更新している。 任期終了後は、起業や事業継承に繋がり、飲食サービスや小売業や観光業、また就農する人もいて引き続き定住する人が多い。 地域おこし協力隊は、地域の担い手不足や、定住移住の促進、地域資源の発掘など、多くの可能性をもっていると考える。 そこで、下記の点について伺いたい。 １．七飯町のこれまでの取り組みについて ２．七飯町の地域おこし協力隊の成果事例について ３．今後、どのように取り組んでいくか

通告順位及び質問者		要旨
4. 中川友規	1	北海道新幹線の利活用構想等について 北海道新幹線は新青森駅と札幌駅の間を結ぶ延長約３６０キロメートルの路線であり、この間には奥津軽いまべつ・木古内・新函館北斗・新八雲（仮称）・長万部・倶知安・新小樽（仮称）の７つの駅が途中駅として計画されている。 現在は新青森駅から新函館北斗駅まで開業（２０１６年３月２６日）しており、関東や東北へのアクセスも良くなっている。また、札幌開業時には七飯町にある総合車両基地「函館新幹線総合車両所」がフル稼働するなど期待が込められている。 そこで次の点について伺いたい。 １．現状の北海道新幹線を利活用した現在の取り組みと今後の計画は ２．北海道新幹線札幌開業に向けての取り組みは ３．札幌開業後の七飯町への影響は ４．札幌開業後を見据えた取り組みは

通告順位及び質問者		要旨
5. 神崎和枝	1	帶状疱疹ワクチン接種について 帶状疱疹の発症が近年増加傾向にあり、特に若い世代でも罹患するケースが増えている。増加の背景にはいくつかの要因が考えられているが、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により体内に潜伏する帶状疱疹ウイルスが再活性化する事で発症すると報道されている。 帶状疱疹ワクチンについては、２０２５年４月から国の定期接種が開始され６５歳以上の方が対象となった。これにより、本町ではこれまで行っていた５０歳以上の方への助成制度を廃止し、６５歳以上の方への定期接種のみに変更された。 そこで、以下の点について伺いたい。 １．町独自の５０歳以上対象の帶状疱疹ワクチン接種助成制度を廃止した理由は。 ２．近郊の自治体では定期接種に加え、５０歳以上の方への助成制度を継続しているが、町はどの様に捉えているか。 ３．これまでの任意接種の状況は。 ４．定期接種の場合は平均的な接種率で町の持ち出しはどの程度になるか。 ５．帶状疱疹罹患者の増加を抑え、合併症や後遺症患者、医療費の削減のため、今一度５０歳からの任意接種に助成する考えはないか。